

特集

# 三弘井ノ横ノ国ノ不思議

フシギノクニノヨコイコウゾウ



素朴派

玩具作家

## 日本のアンリ・ルソー

ゴッホのように善に密着し：  
 ゴーギャンのように離脱して  
 自己の内に入ることを選ぶ：  
 むしろ、

流浪して庶民の影に生きた、  
 木喰や円空のクラフトマン  
 シップに近いかもしれない。

―飯沢匡 脱俗の画家横井弘三の生涯―より―



## 仙人

楽に描いてあるようで、実は恐ろしく骨の折れたと思われる絵がある。安井氏\*のが、それである。

これと反対に、恐ろしく綿密で、面倒臭そう、描いている人は存外気楽で、面白くてたまらぬような絵があるとすれば、それは横井弘三氏なのである。

―寺田寅彦(二科会展覧会雑感 明星)大正13年10月号)―

\*安井曾太郎のこと。

## 童心芸術家

## 露店商

matubaya-tushin  
vol.15 2011.3.1

# 松葉屋通信

近代の隘路に陥った現代絵画の窮状を打開するには、それが排除し抑圧してきたさまざまな潜在的な可能性を顕在化させなければならぬ。そのいわば近代美術史のオーバーホールは横井らの多様な活動が端緒となるはずだが、それと同時に、何よりもぼくら自身が「絵画」の圏内から積極的に離れようと努めるべきだろう。

―福住廣「アートスケープ」横井弘三ふすま絵展「展覧会レビュー」より―



わたしはこの人の中に、西行を見る  
-kai+pan-

特集

# 不思議ノ国ノ横井弘三

フシギノタニヨコイコウゾウ

それから  
横井さんの画塾に通っていた  
北川原さんに  
お話を伺いました

★キャンバスは何でもよかったです。ペニヤ板の上に直接描いています。



北川原先生「夫妻と一画展の、美術に対する事業眼の確かさが横井さんを呼び込み、絵を渡されたといえるでしょう。」「本当に羨ましいですね。」「それは素晴らしい！」「たぶん前清水の嫁取と、安政屋あたりでしようか。」「ちいほの絵、写数は小さいけれど、これは本当に鳥肌が立つほど素晴らしい絵でした。」「もう一枚、少し大きなひまわりのある絵、何でも、台所の天窓を覗くために打ち付けられていたのだという。」「なんと横井さんの絵らしい『エピソード』、これもまた感動的な絵でした。」「本当に羨ましいですね。」「」

そして見せていただいた絵が、北川原先生の少年時代の絵を含む4枚でした。それは素晴らしい！

ある日、以前からおつきあいでいた、長野市の権堂というところで、資料医をしていらつする北川原さんのお宅にお届けの伺ったときのこと。なにか発見のある画馬、すこく心惹かれる画馬が目にとまりました。」「先生、こちらは一？」「横井弘三さんですか。」「やっばり！」「私、横井さんに絵を教えたもっていただけがあった。」「えーっ！」「というふうなやりとりから、

どうして横井さんのお話をお聞きしたくて、後日お宅におしかけたのでした。



★北川原さんと、横井さんが描いた少年時代、何となく面影があります。

僕が小学校に上がるまえのことですから、昭和35年か39年頃の話になります。横井先生の画塾というか、お絵描き教室に通い始めたとき、かけはどのくらいか、お話しを聞かせてください。当時後町の本願寺別院の境内にある、中央幼稚園に通っていました。ところが今で言うところの、登壇北野界。僕は両親を早く亡くしてしまつたので、4歳上の姉に聞いたところ、母親が「東は大部分の人話したりできるような社交的な性格ではないので、絵を描いたらモノをつくったりするほうが向いている」と考へたらしく、叔父の健二に、絵を教えてくれる人は誰かいないか？と見つけてもらつたんじゃないのかな、そう言っていました。」「社交的じゃないって、幼稚園児ですよ。」「心配性にも程がありますよ。」「僕の祖父の弟が日本画家だつたり、藤屋御本陣の正室に描られている美人画の作者です。やはり叔母が女子美術で日本画を描いていたので、その影響はあつたかもしれません。」「横井先生の自宅でお絵描きしてはいたのですが、すこいボロ屋でまつたく50年近く前のことなのに、強烈な記憶が残っています。」「

幼幼稚園ですから、それがたのしくて、ああ、もうひとつ強烈な記憶に、なんだか強烈な記憶ばかりですね。とにかく面白い経験でした。」「どんな経緯で通い始めたかわかりませんが、その時間を与えてくれた両親や借二叔父、それから横井先生に感謝しかありません。その3年後、小学校3年から彫刻家の田原幸三先生に師事する（こころごと）というふたりの先生にであつた（こころごと）不思議な縁を感じています。」「

先生の身なり、風体、あらゆるもの。こたつに埋もれるように描いて絵を描いてみせてくれました。モチーフは先生の家にあつたおもちゃみたいなものや、果物などの静物だつたかな。頭が尖つた、面白いこけしがあつて強く記憶しています。」「先生が5Bくらいの鉛筆をさるる手で下書きしてくれて、それにクレヨンで塗つて行く。」「

僕が小学校に上がるまえのことですから、昭和35年か39年頃の話になります。横井先生の画塾というか、お絵描き教室に通い始めたとき、かけはどのくらいか、お話しを聞かせてください。当時後町の本願寺別院の境内にある、中央幼稚園に通っていました。ところが今で言うところの、登壇北野界。僕は両親を早く亡くしてしまつたので、4歳上の姉に聞いたところ、母親が「東は大部分の人話したりできるような社交的な性格ではないので、絵を描いたらモノをつくったりするほうが向いている」と考へたらしく、叔父の健二に、絵を教えてくれる人は誰かいないか？と見つけてもらつたんじゃないのかな、そう言っていました。」「



## 横井弘三

### 年譜

明治22年 長野県飯田市の貧しい菓子商の子として生まれる。思春期の頃、父親の家庭銀行業で羽振りが良くなり、美術学校入学を希望するが、父の反対にあり、早稲田大学入学、中退。その後美術学校、画塾等の専門教育を受けず「日曜画家」のはしりとなる。版画家、彫刻の画家。)

大正 4年 第2回二科展に初出品。初入選「種牛賞」受賞。小笠原謙吉父島に渡り制作

大正 5年 第3回二科展で「二科賞」受賞。以後第11回展まで出品。入選「日本のアンリ・ルソー」と言われて評判となる

大正 7年 神岡のテント 画の展「きみ子」と結婚

大正13年 第11回二科展（復興児童に贈る絵）を出品するが陳列を拒否される。「既成画壇の審査制度」に疑問を持ち、二科を脱退、以後中央画壇から疎外されていった

昭和16年 宮沢賢治著「グスコブドリの伝記」の装幀、挿絵を描く

昭和19年 長野市に疎開、以後昭和二四年頃まで長野工業高校、須坂農業高校、仁礼小中学校の図画教師となる

昭和21年 「童話のお蔵」出版

昭和23年 宮沢賢治「なめとこ山の熊」挿絵

昭和27年 信州新町の水内小学校に滞在し、30点の作品を制作

昭和36年 第23回一水会展に出品。佳作賞受賞

昭和40年 心不全で永眠 76才



★タイトルは「花火」、婦人之友社で購入できる横井さんの絵葉書。現在、手にすることのできる貴重な一枚です。絵はがき「子供之友」4枚セット 400円 <http://www.fujinnotomo.co.jp/book/postcard/>

## 僕と横井さん

# 不思議は尽きない。

横井弘三はアンリ・ルソーを愛した素朴派の画家で、生涯童心を守り続けようとし、一方では、ゴッホの作品に接近し、越えようと思い、さらに内部を形象化しようと抽象画の世界まで足を踏み入れた。(小崎軍治/美術評論家)

横井弘三は上野の美術学校はおろか、東京にいくつもあった有名画家の開いた画塾にも籍を置いたことはなかった。彼は日本における「日曜画家」の第一号と言えるかもしれない経歴で、二科会に初搬入と共に見事初入選し、同時に犇牛を得、次の年には二科賞をとった。この二科賞は、あの岸田劉生が同賞をとる前年である。(飯沢匡/作家)

昭和16年(1941年)  
「グスコブドリの伝記」  
宮沢賢治作 横井弘三挿絵 羽田書店  
昭和23年(1948年)  
「なめと山の熊」<宮沢賢治童話集第2巻>  
横井弘三挿絵 講談社

この2冊の挿絵は評価が高く、宮沢賢治の作品世界をもっともよく表現しているといわれています。挿絵の一部は、「絵本の世界 110人のイラストレーター(第1集)」で見ることができます。

絵本の世界 110人のイラストレーター 第1集  
作者: 堀内誠一 出版社: 福音館書店  
発売日: 1984/06/15



…コレカラモ探索ハ続ク

## 小冊子をお分けしています。

松葉屋は、家具に用いられる「さまざまなもの」についての小冊子を作っています。  
その1  
主材となる「木材」のこと。  
その2  
生活道具としてかかせない「塗料」のこと。  
ご希望の方は、お気軽に下記までご請求ください。



その1 ●木について詳しくなれる小冊子



その2 ●塗料を知る、塗装を知るための小冊子(前編)



## まつのほ文庫 New Books! Information

うつくしい、ギャッベの本が入りました。ギャッベに魅せられたカメラマンと編集者が、美しい写真と文で編み上げたグラフィック満載の本です。カシュガイの人々の誇りと、圧倒的な風景と、鮮やかなギャッベ。すべてが印象的な1冊です。

松葉屋家具店+くらし道具学研究所

〒380-0841 長野市大門町45  
since1833@matubaya-kagu.com  
TEL 026-232-2346  
FAX 026-237-4558

☎ 0120-55-2346

(水曜定休)

© 松葉屋家具店+くらし道具学研究所  
Copyright ©2010 Matubayakaguten Co., Ltd.  
All rights reserved.  
Design&Text \* kai+pan

### 外 朝 日 新 聞 日 報 京 東

東京朝日新聞号外  
日二十月四年九十二發第  
「長野商人一覽」二続キ、発見セルハ、「東京朝日新聞ノ号外」也。  
な一んで口調に、思わずなつてしまふ文面。  
明治二十八年四月廿一日発行の号外は、「日清講和条約(いわゆる下関条約)」同四月十七日に下関で調印。その後発表された明治天皇の詔勅を掲載したもの。  
このあと「三國干渉」によつて領土を得られなかった日本は、そのまま日露戦争に走つてゆく、という時代です。このあたりは、司馬遼太郎の「坂の上の雲」ですね。  
こちらの号外も、ご希望の方にコピーをお分けしています。  
左記まで、お問い合わせください。

コノ度見ツカッタノハ

### 東京朝日新聞号外

「長野商人一覽」二続キ、発見セルハ、「東京朝日新聞ノ号外」也。  
な一んで口調に、思わずなつてしまふ文面。  
明治二十八年四月廿一日発行の号外は、「日清講和条約(いわゆる下関条約)」同四月十七日に下関で調印。その後発表された明治天皇の詔勅を掲載したもの。  
このあと「三國干渉」によつて領土を得られなかった日本は、そのまま日露戦争に走つてゆく、という時代です。このあたりは、司馬遼太郎の「坂の上の雲」ですね。  
こちらの号外も、ご希望の方にコピーをお分けしています。  
左記まで、お問い合わせください。

お知らせ ●松葉屋の定休日が水曜日に変わりました。